ESET PROTECTソリューション 自動アップデート機能紹介資料

第15版 2025年6月2日



もくじ



- 1. はじめに
- 2. 自動アップデートとは?
 - ① 既定値について
 - ② 仕様について
 - ③ 設定可能な値(V10.1/V11.x/V12.x)
 - ④ 設定可能な値(V10.0)
 - ⑤ 設定可能な値(V9.x)
 - ⑥ 通知をオフにする方法(クライアントを直接操作して設定)
 - ⑦ 通知をオフにする方法(セキュリティ管理ツールを利用して設定)
- 3. 自動アップデート設定方法
 - クライアントを直接操作して設定する
 - セキュリティ管理ツールを利用して設定する
- 4. 自動アップデートによるバージョンアップ方法
 - 手動でアップデートする
 - 「スケジューラ」の設定の確認する

1.はじめに



本資料は「ESET PROTECTソリューション」で提供しているWindowsクライアント用プログラムの自動アップデート(プログラムコンポーネントアップデート)機能を紹介している資料です。バージョンによって名称が異なるためご注意ください。

Windowsクライアント用プログラムに関する機能紹介は別資料でご用意しています。

プログラム名	バージョン	機能名
ESET Endpoint Security (EES) ESET Endpoint アンチウイルス (EEA)	12.X / 11.x /10.1 / 9.1	自動アップデート
ESET Server Security for Microsoft Windows Server (ESSW)	12.X / 11.x /10.0 / 9.0	自動アップデート

本資料で使用しているESET製品の画面イメージは使用するバージョンにより異なる場合があります。 また、今後画面イメージや文言が変更される可能性がございます。

ESET、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET PROTECT、ESET PROTECT on-premは、ESET,spol.s r.o.の商標です。

Windows、Windows Server、Microsoft Edge、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における商標登録または商標です。

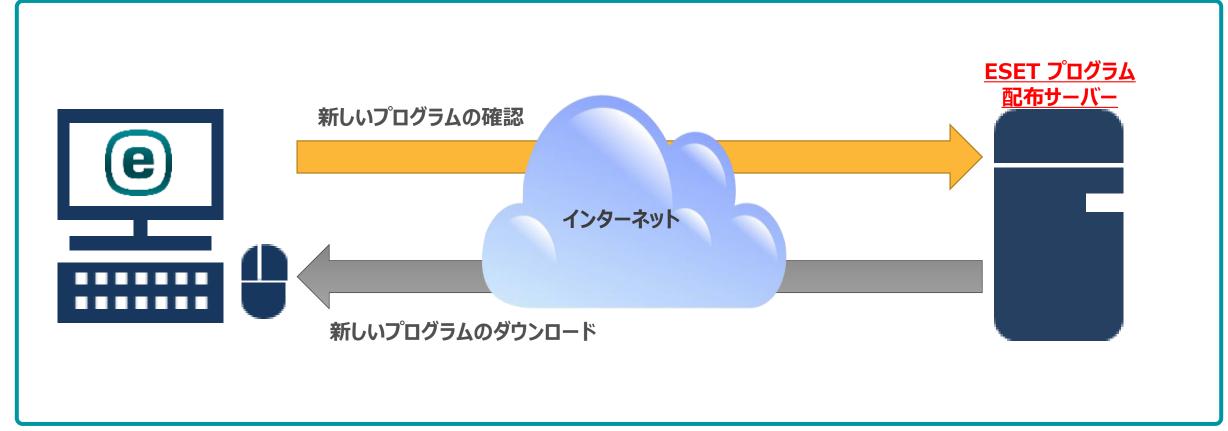
2.自動アップデートとは?

2.自動アップデートとは?



自動アップデートとは、最新のクライアント用プログラムを自動ダウンロードしバージョンアップすることができる機能です。高度化するサイバー攻撃に対抗するため、常に最新プログラムを利用することで高いセキュリティレベルを維持することは重要です。本機能をご利用いただくことで、プログラムのバージョンアップ対応により発生する管理者やユーザーの作業負荷を軽減しつつプログラムを最新に保つことができます。

※ご利用にはインターネット接続が必須です。



2.自動アップデートとは? ①既定値について



Windows用プログラムの種類やバージョンにより既定値が異なります。

プログラム名	バージョン	管理の有無	自動アップデート機能の設定値
クライアントOS向け総合セキュリティプログラム ESET Endpoint Security クライアントOS向けウイルス・スパイウェア対策プログラム ESET Endpoint アンチウイルス	V12.x/ V11.x/ V10.1/V9.1	管理あり	環境によって設定が異なる※
		管理なし	有効
Windows Server向けプログラム ESET Server Security for Microsoft Windows Server	V12.x/ V11.x/ V10.0/V9.0	管理あり	環境によって設定が異なる※
		管理なし	有効

※自動アップデート機能は環境により異なります。詳細については以下のWebページより「◆規定値」をご確認ください。

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/19924?site_domain=business

2.自動アップデートとは? ②仕様について



以下、自動アップデートの仕様となります。

- 自動アップデートはプロキシサーバー経由での利用が可能です。
 ESETの詳細設定画面の「アップデート」にて設定したプロキシが利用されます。
- 自動アップデートはミラーサーバーからのアップデートはできません。自動アップデートを利用するには、クライアントがインターネット(ESET社のサーバー)に接続できる必要があります。
- 自動アップデートでは、以下のWebページの【セキュリティ管理ツール・自動バージョンアップで使用】に記載のリポジトリサーバーへ接続します。本機能で利用するアドレスを許可する設定をおこなってください。

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/41?site_domain=business

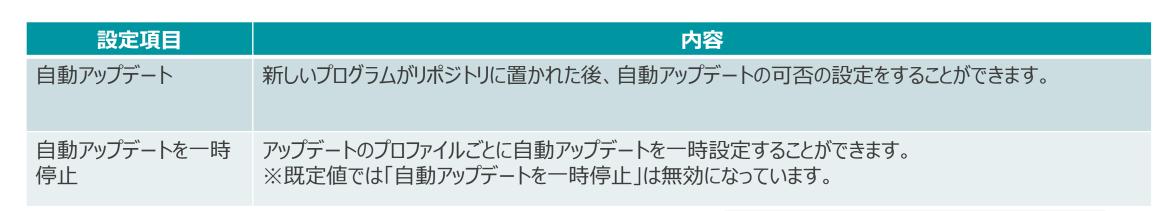
- 自動アップデート実行後は再起動が必要です。
- バージョンアップにEULA (使用承諾)の同意が必要な場合、自動アップデート実行時のユーザーの権限がユーザー権限の場合は管理者パスワードが必要となります。
- 自動アップデートのダウンロードサイズは、~250MBです。
- 自動アップデートの仕様・注意事項の詳細については以下のWebページをご確認ください。
 https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/19924?site_domain=business

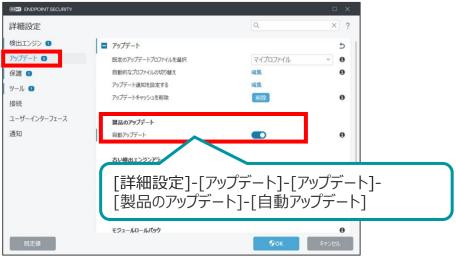


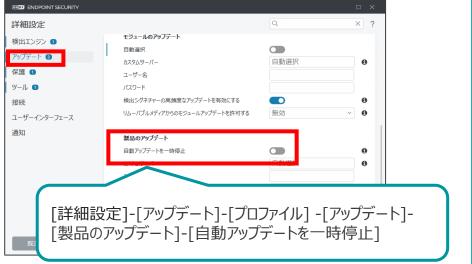


◆V10.1/V11.x/V12.xの場合

新しいバージョンが公開された際の自動アップデートの動作を指定します。





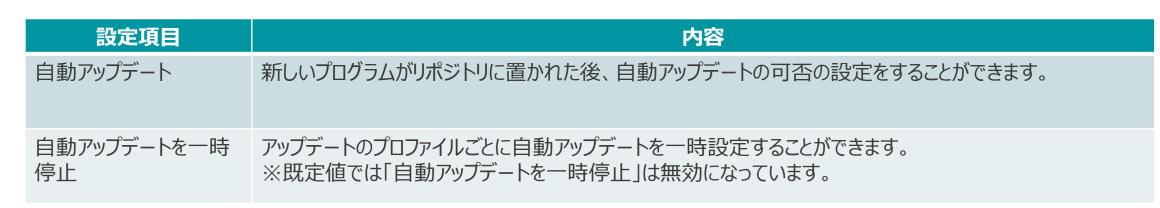


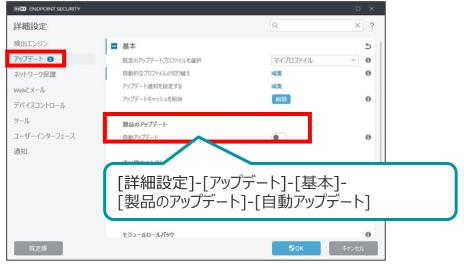
2.自動アップデートとは? ④設定可能な値(V10.0)

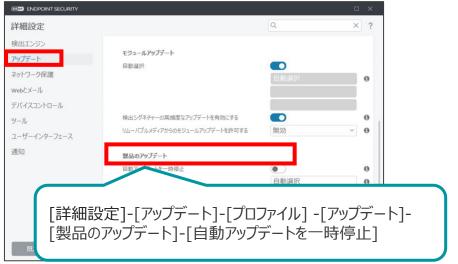


◆V10.0の場合

新しいバージョンが公開された際の自動アップデートの動作を指定します。







2.自動アップデートとは? ④設定可能な値(V10.0)



◆V10.0の場合

自動アップデートの設定を「無効」にしている場合、セキュリティ管理ツールで以下の通知が表示されます。

表示されるバナー画面

新しいバージョンがリポジトリに公開されると自動アップデートを有効にするようにセキュリティ管理ツールのWebコンソールのダッシュボード画面にバナーが表示されます。



バナーの詳細画面

上記の詳細をクリックした際に以下の画像が表示されます。



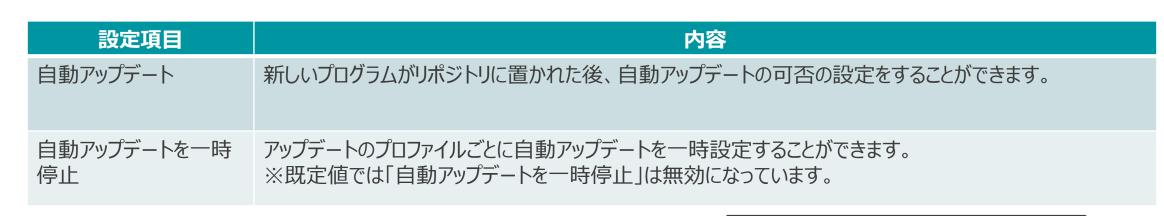
「今すぐ有効にする」をクリックすることで、静的グループ[すべて]に対して、自動アップデートを有効にするポリシーを適用することも可能です。

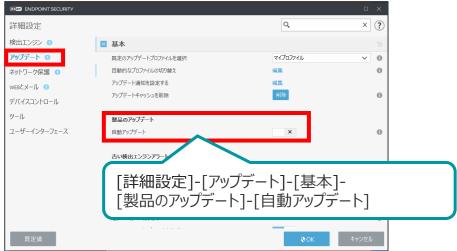
2. 自動アップデートとは? ⑤設定可能な値(V9.x)

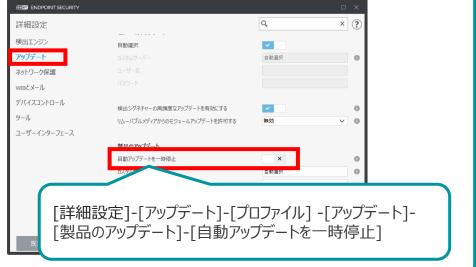


◆V9.xの場合

新しいバージョンが公開された際の自動アップデートの動作を指定します。







2.自動アップデートとは? ⑤設定可能な値(V9.x)



◆V9.xの場合

自動アップデートの設定を「無効」にしている場合、セキュリティ管理ツールで以下の通知が表示されます。

● 表示されるバナー画面

新しいバージョンがリポジトリに公開されると自動アップデートを有効にするようにセキュリティ管理ツールのWebコンソールのダッシュボード画面にバナーが表示されます。



バナーの詳細画面

上記の詳細をクリックした際に以下の画像が表示されます。



「今すぐ有効にする」をクリックすることで、静的グループ[すべて]に対して、自動アップデートを有効にするポリシーを適用することも可能です。

2.自動アップデートとは? 通知をオフにする方法



自動アップデートに関する通知が不要な場合は以下の方法で無効にすることができます。お客様の環境に合わせて方法を選択してください。操作手順につきましては次ページ以降にて案内します。

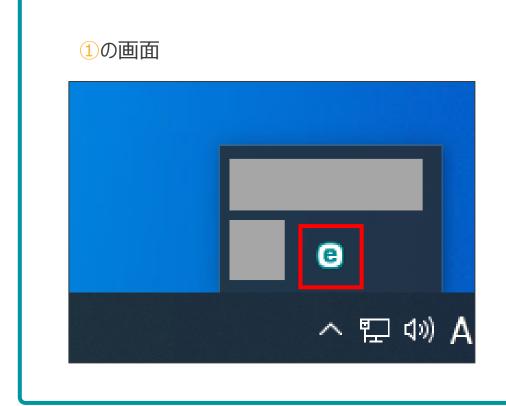
お客様環境	利用するESETプログラム	設定方法	ページ
セキュリティ管理ツールなしの場合	クライアント: EES/EEA V9.1、V10.1、V11.x、V12.x ESSW V9.0、V10.0、V11.x、V12.x のいずれか	クライアントを直接操作し プログラムの詳細設定画面から設定	P13~21
セキュリティ管理ツールありの場合	セキュリティ管理ツール: ESET PROTECT on-prem V10.x、V11.x、V12.x または、ESET PROTECT クライアント: EES/EEA V9.1、V10.x、V11.x、V12.x ESSW V9.0、V10.0、V11.x、V12.x のいずれか	セキュリティ管理ツールの ポリシーを利用して設定	P22~28

2.自動アップデートとは? ⑥通知をオフにする方法(クライアントを直接操作)



クライアントを直接操作して設定する方法 (EES/EEA/ESSW V12.xの場合)

- ① 画面右下の通知領域にあるESET製品のアイコンをダブルクリックして、基本画面を開きます。
- ② [設定]>[詳細設定]の順にクリックします。



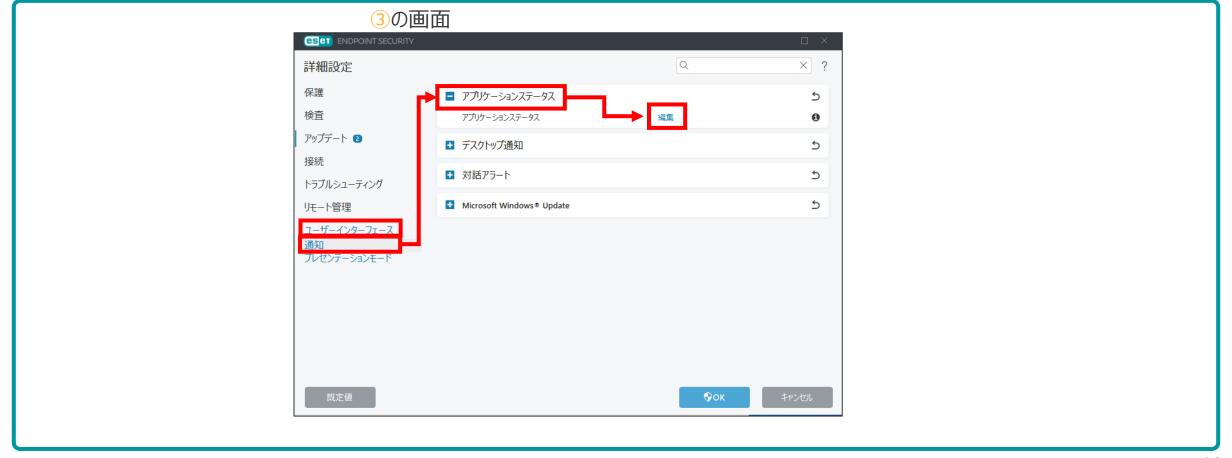






クライアントを直接操作して設定する方法 (EES/EEA/ESSW V12.xの場合)

③ [ユーザーインターフェース]>[通知]をクリックし、[アプリケーションステータス]の[編集]をクリックします。



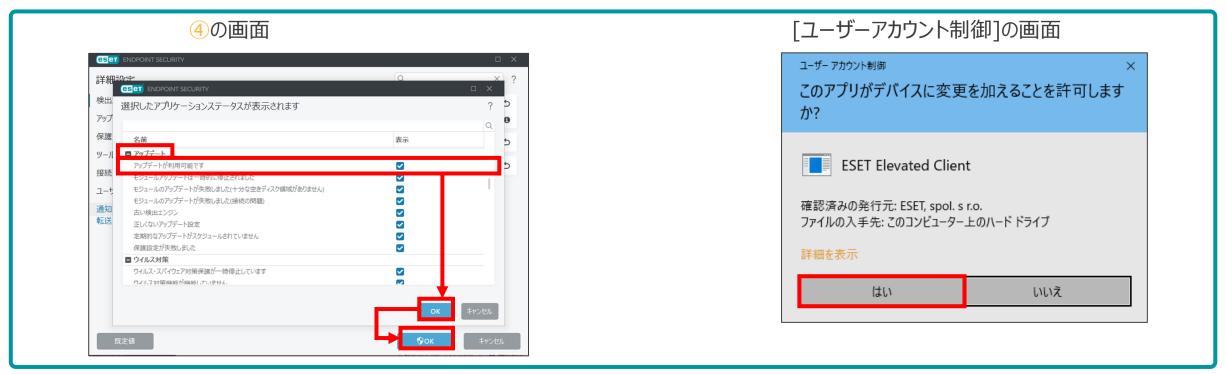
2.自動アップデートとは? ⑥通知をオフにする方法(クライアントを直接操作)



クライアントを直接操作して設定する方法 (EES/EEA/ESSW V12.xの場合)

④ [アップデート]の[アップデートが利用可能です]より、[表示]のチェックボックスを空欄にする。[OK] > [OK]をクリックします。 ※[ユーザーアカウント制御]画面が表示される場合は、[はい]ボタンをクリックします。

以上で手順は終了です。



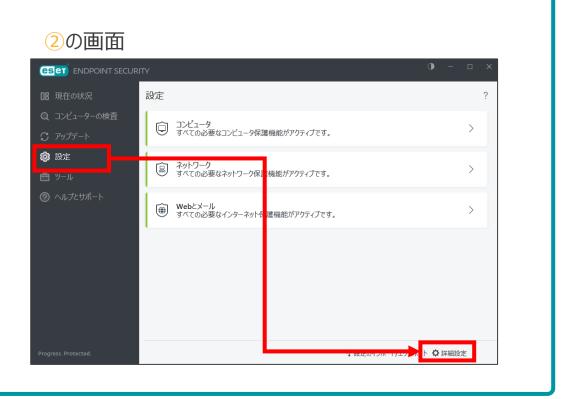
2.自動アップデートとは? ⑥通知をオフにする方法(クライアントを直接操作)



クライアントを直接操作して設定する方法 (EES/EEA/ESSW V10.x/V11.xの場合)

- ① 画面右下の通知領域にあるESET製品のアイコンをダブルクリックして、基本画面を開きます。
- ② [設定]>[詳細設定]の順にクリックします。









クライアントを直接操作して設定する方法 (EES/EEA/ESSW V10.x/V11.xの場合)

③ [通知]をクリックし、[アプリケーションステータス] の[編集]をクリックします。



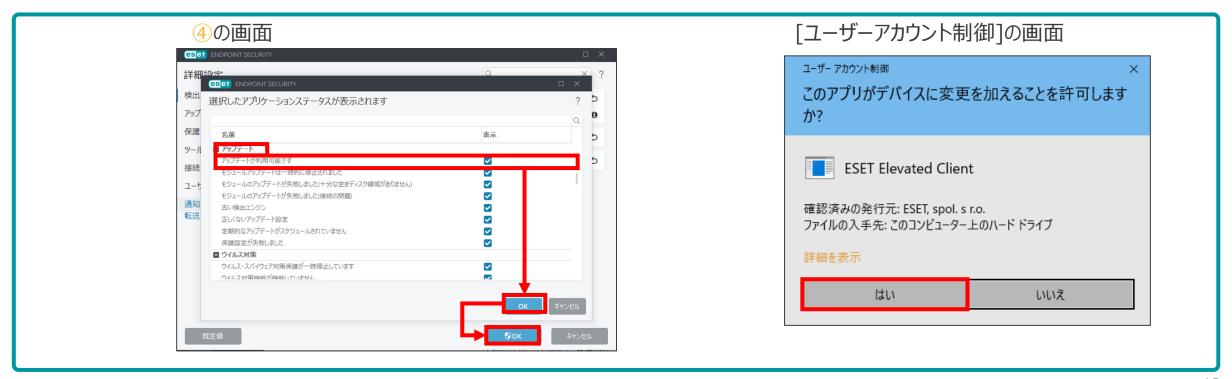
2.自動アップデートとは? ⑥通知をオフにする方法(クライアントを直接操作)



クライアントを直接操作して設定する方法 (EES/EEA/ESSW V10.x/V11.xの場合)

④ [アップデート]の[アップデートが利用可能です]より、[表示]のチェックボックスを空欄にする。[OK] > [OK]をクリックします。 ※[ユーザーアカウント制御]画面が表示される場合は、[はい]ボタンをクリックします。

以上で手順は終了です。

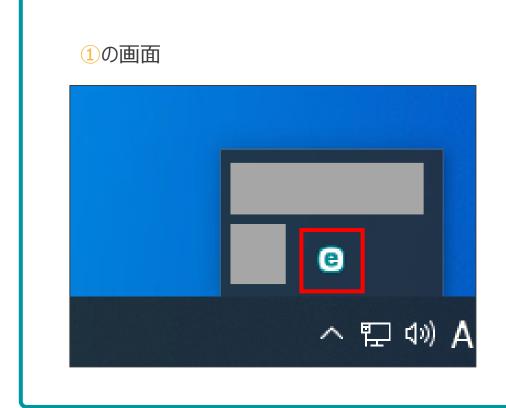


2.自動アップデートとは? ⑥通知をオフにする方法(クライアントを直接操作)



クライアントを直接操作して設定する方法 (EES/EEA V9.xの場合)

- ① 画面右下の通知領域にあるESET製品のアイコンをダブルクリックして、基本画面を開きます。
- ② [設定]>[詳細設定]の順にクリックします。









クライアントを直接操作して設定する方法 (EES/EEA V9.xの場合)

③ [ツール]>[通知]>[基本]を順にクリックし、[アプリケーション通知] の[編集]をクリックする。



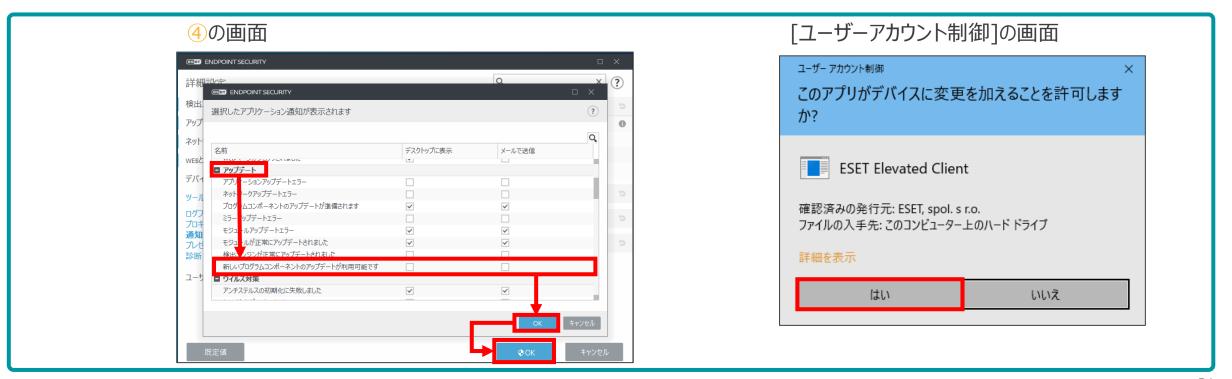




クライアントを直接操作して設定する方法 (EES/EEA V9.xの場合)

- ④ [アップデート]の[新しいプログラムコンポーネントのアップデートが利用可能です]より、[デスクトップに表示]と[メールで送信]のチェックボックスを空欄にする。[OK]>[OK] をクリックします。
 - ※[ユーザーアカウント制御]画面が表示される場合は、[はい]ボタンをクリックします。

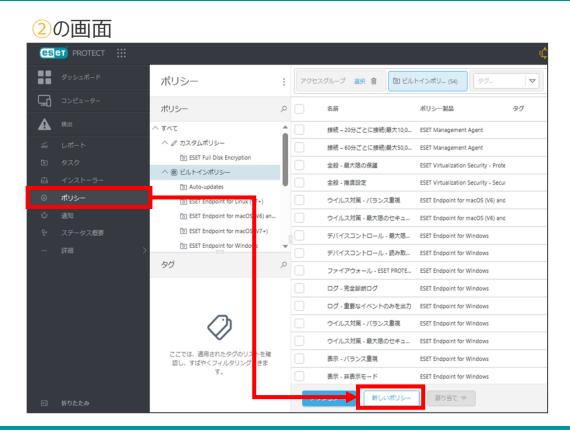
以上で手順は終了です。







- 1 ESET PROTECT (EP)にログインします。
- ② EP Webコンソールの画面左の[ポリシー]>[新しいポリシー]の順にクリックします。





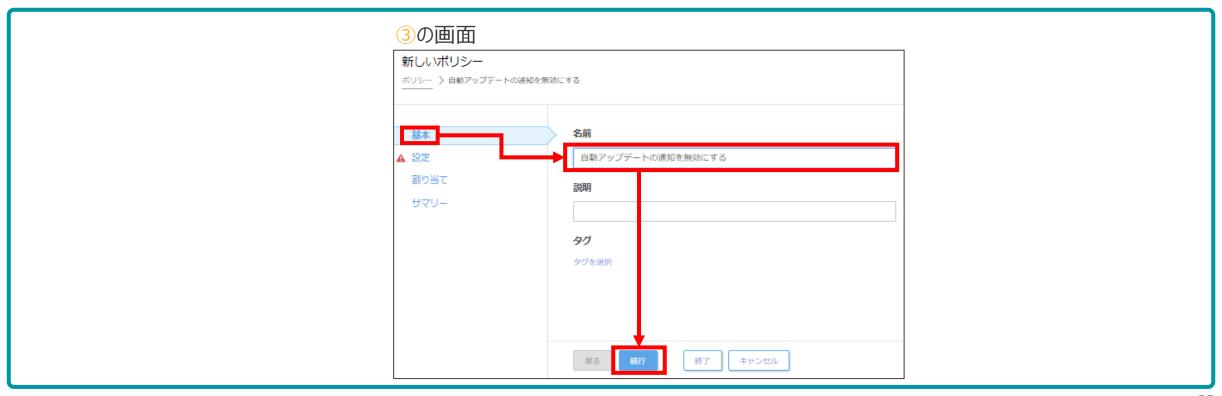


③ [基本]ではポリシーの基本項目を設定します。

[名前]に任意の情報を入力します。必要に応じて[説明]と[タグ]を入力します。

[基本]の設定が終わりましたら、[続行]をクリックします。

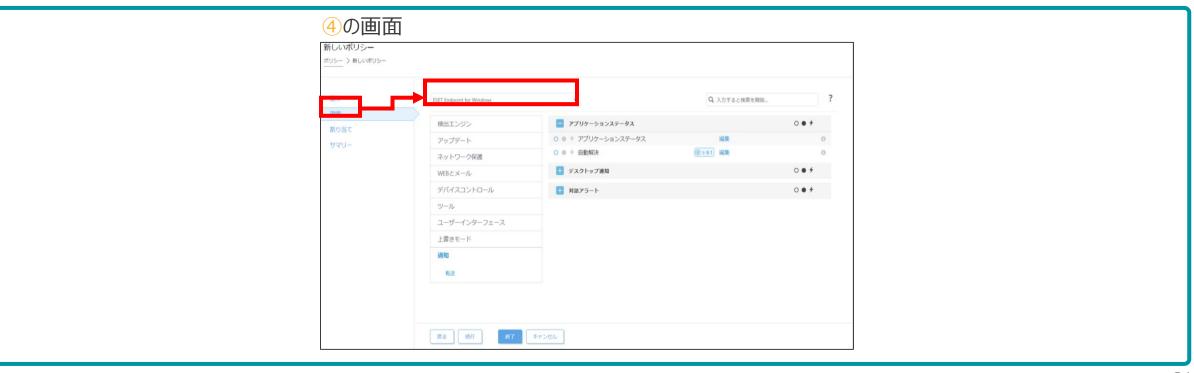
例) 名前:自動アップデートの通知を無効にする







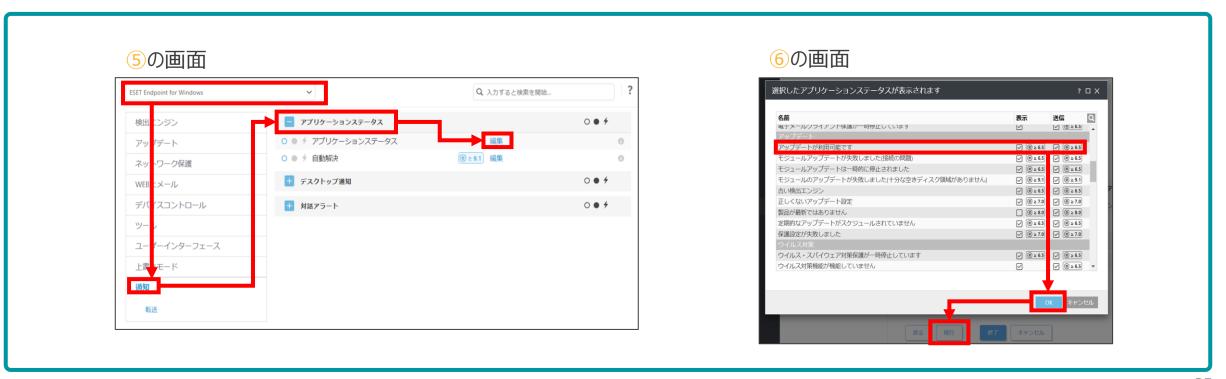
- ④ [設定]ではクライアントの設定を行います。 製品群より[ESET Endpoint for Windows]または[ESET Server/File Security for Microsoft Windows Server(V6+)]※ を選択し、クリックします。
 - ※EES/EEAの場合は[ESET Endpoint for Windows]、ESSWの場合は[ESET Server/File Security for Microsoft Windows Server(V6+)]を選択します。







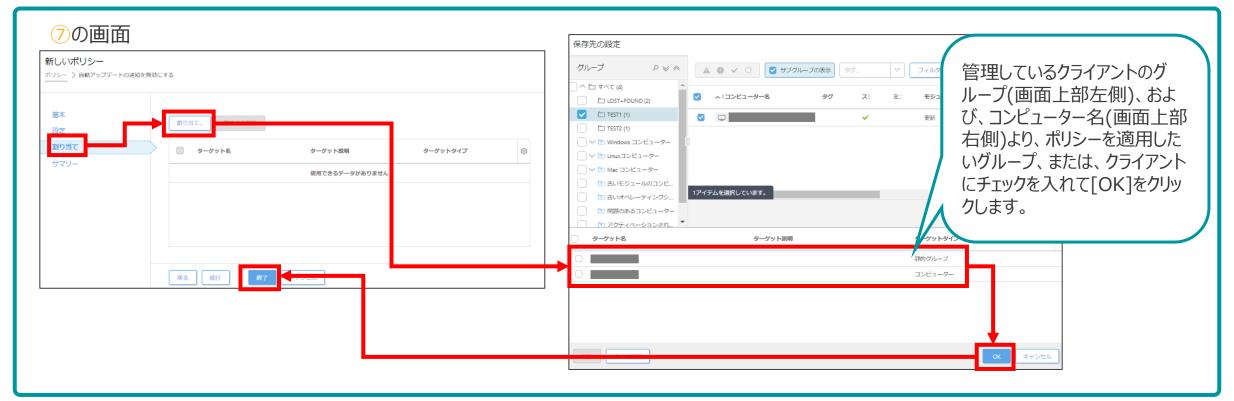
- (5) [通知]>[アプリケーションステータス]の順にクリックします。[アプリケーションステータス]の[編集]をクリックします。
- ⑥ [アップデート]の[アップデートが利用可能です]より、[表示]と[送信]のチェックボックスを空欄にし、[OK]をクリックします。[設定]が終わりましたら、[続行]をクリックします。







[割り当て]ではポリシーを割り当てるクライアントを設定します。[割り当て]を選択して、任意のクライアントを設定ください。[割り当て]の設定が終わりましたら、[終了]をクリックし、ポリシーを作成・適用します。

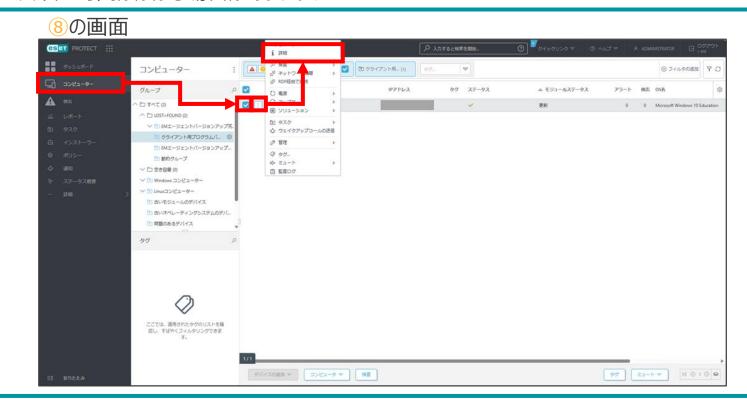




2.自動アップデートとは? ⑦通知をオフにする方法(セキュリティ管理ツールを利用)

セキュリティ管理ツールを利用して設定する方法

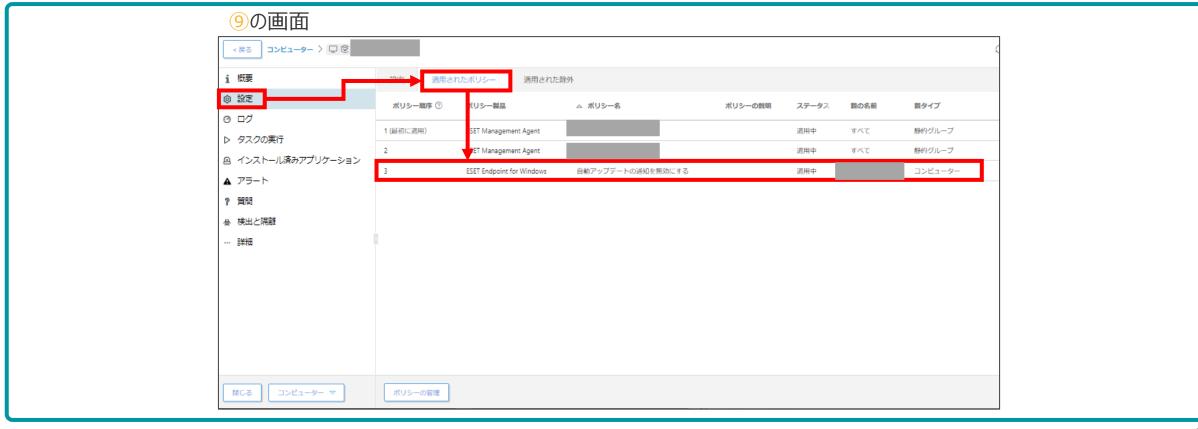
- 8 画面左の[コンピューター]をクリックします。ポリシーを適用したクライアント、または、ポリシーを適用したグループ内のクライアントを選択し、 [**:**]>[詳細]をクリックします。
 - ※クライアントの ESET Managementエージェント がセキュリティ管理ツールに接続する間隔を長く設定している場合は、ポリシーの反映に時間がかかる場合があります。







⑨ [設定]> [適用されたポリシー]の順にクリックします。ポリシーの一覧の中に適用させたポリシーが表示されていれば、ポリシーは設定されています。以上にて手順は終了です。





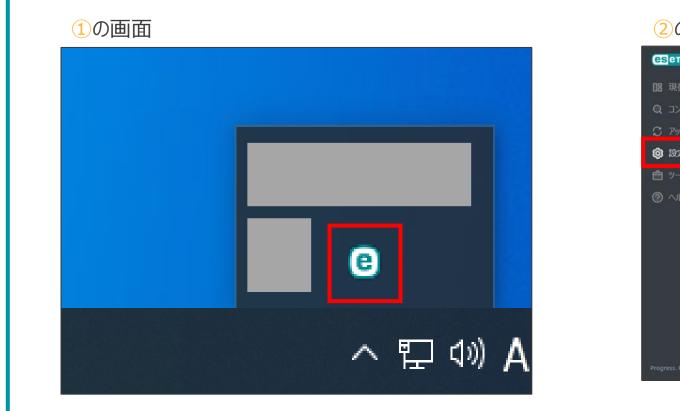
自動アップデートは以下の方法で有効にすることができます。お客様の環境に合わせて方法を選択してください。 操作手順につきましては次ページ以降にて案内します。

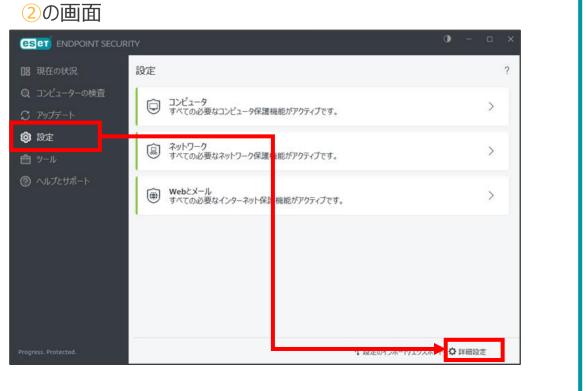
お客様環境	利用するESETプログラム	設定方法	ページ
セキュリティ管理ツールなしの場合	クライアント: EES/EEA V9.1、V10.1、V11.x、V12.x ESSW V9.0、V10.0、V11.x、V12.x のいずれか	クライアントを直接操作し プログラムの詳細設定画面から設定	P31~36
セキュリティ管理ツールありの場合	セキュリティ管理ツール: ESET PROTECT on-prem V10.x、V11.x、V12.x または、ESET PROTECT クライアント: EES/EEA V9.1、V10.1、V11.x、V12.x ESSW V9.0、V10.0、V11.x、V12.x のいずれか	セキュリティ管理ツールの ポリシーを利用して設定	P37~40



クライアントを直接操作して設定する方法(EES/EEA V10.1/V11.x/V12.xの場合)

- ① 画面右下の通知領域にあるESET製品のアイコンをダブルクリックして、基本画面を開きます。
- ② [設定]>[詳細設定]の順にクリックします。







クライアントを直接操作して設定する方法(EES/EEA V10.1/V11.x/V12.xの場合)

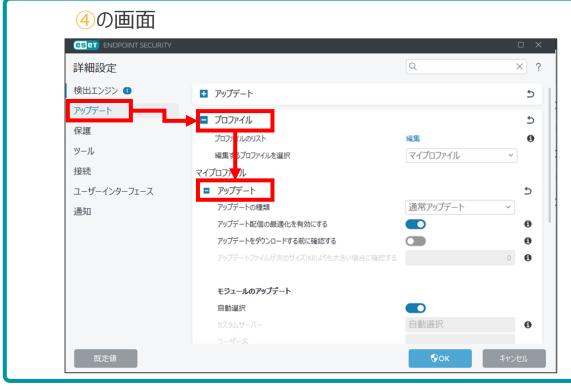
③ [アップデート]>[基本]の順にクリックし[製品のアップデート]配下の[自動アップデート]を有効にします。





クライアントを直接操作して設定する方法(ESSW V10.0/V11.x/V12.xの場合)

- 4 [アップデート]>[プロファイル]>[アップデート]の順にクリックします。
- ⑤ [アップデート]配下の[製品のアップデート]>[自動アップデートを一時停止]が無効になっていることもご確認ください。
- 6 [OK]をクリックして設定を保存します。
 - ※[ユーザーアカウント制御]画面が表示される場合は、[はい]ボタンをクリックします。 以上で手順は終了です。







クライアントを直接操作して設定する方法(ESSW V10.0/V11.x/V12.xの場合)

- ④ [アップデート]>[プロファイル]>[アップデート]の順にクリックします。
- ⑤ [アップデート]配下の[製品のアップデート]>[自動アップデートを一時停止]が無効になっていることもご確認ください。
- 6 [OK]をクリックして設定を保存します。
 - ※[ユーザーアカウント制御]画面が表示される場合は、[はい]ボタンをクリックします。 以上で手順は終了です。







クライアントを直接操作して設定する方法(EES/EEA/ESSW V9.xの場合)

③ [アップデート]>[基本]の順にクリックし[製品のアップデート]配下の[自動アップデート]を有効にします。





クライアントを直接操作して設定する方法(EES/EEA/ESSW V9.xの場合)

- ④ [アップデート]>[プロファイル]>[アップデート] の順にクリックします。
- ⑤ [製品のアップデート]>[自動アップデートを一時停止]が無効になっていることもご確認ください。
- 6 [OK]をクリックして設定を保存します。
 - ※[ユーザーアカウント制御]画面が表示される場合は、[はい]ボタンをクリックします。
- 以上で手順は終了です。

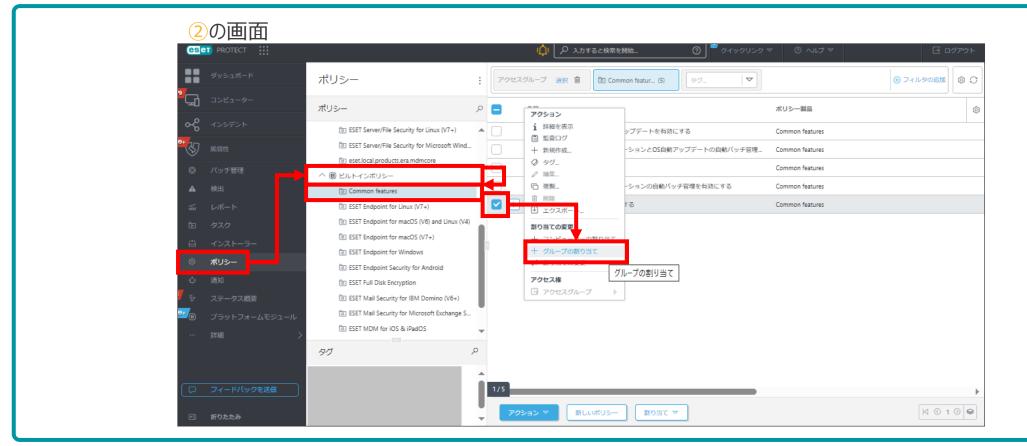






セキュリティ管理ツールを利用して設定する方法

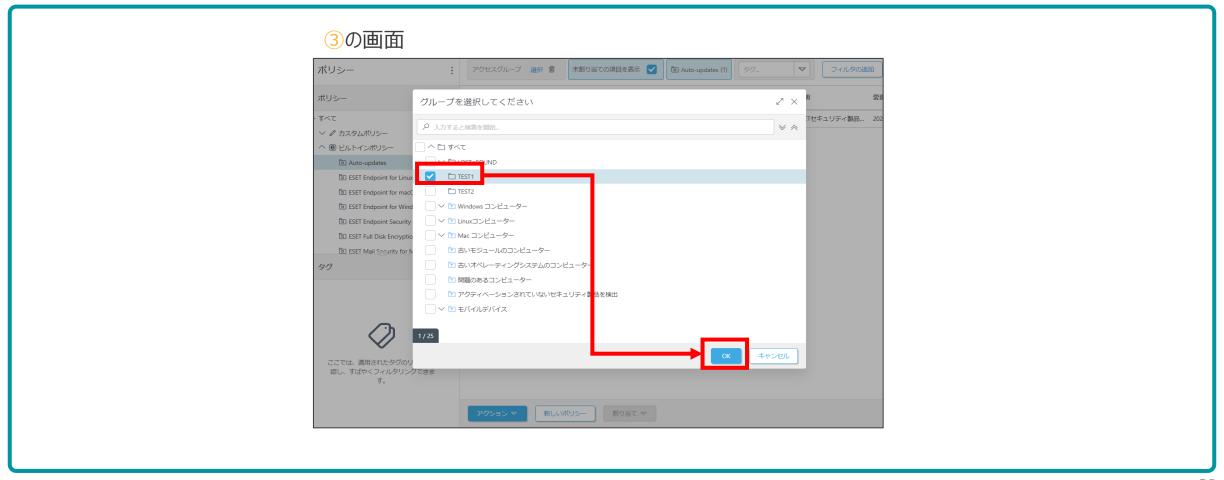
- ① ESET PROTECT(EP)にログインします。
- ② EP Webコンソールの画面左の[ポリシー]> [ビルトインポリシー]> [Common features]より[製品自動アップデートを有効にする]を選択し、[:]> [グループの割り当て]をクリックします。





セキュリティ管理ツールを利用して設定する方法

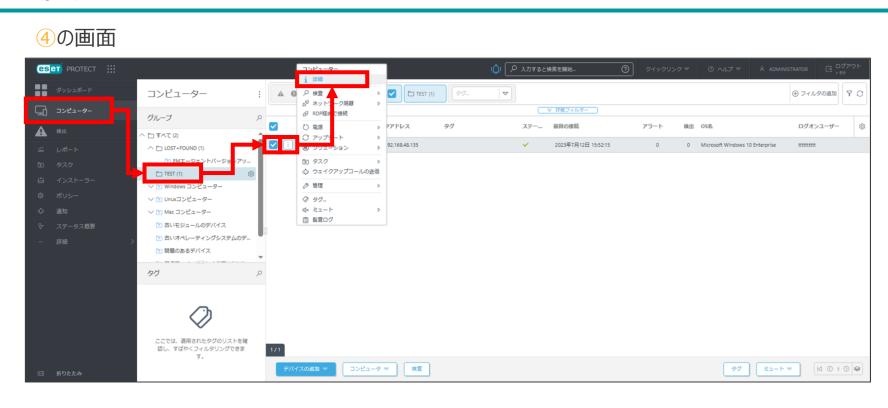
③ ポリシーを割り当てるグループを選択し、[OK]をクリックします。





セキュリティ管理ツールを利用して設定する方法

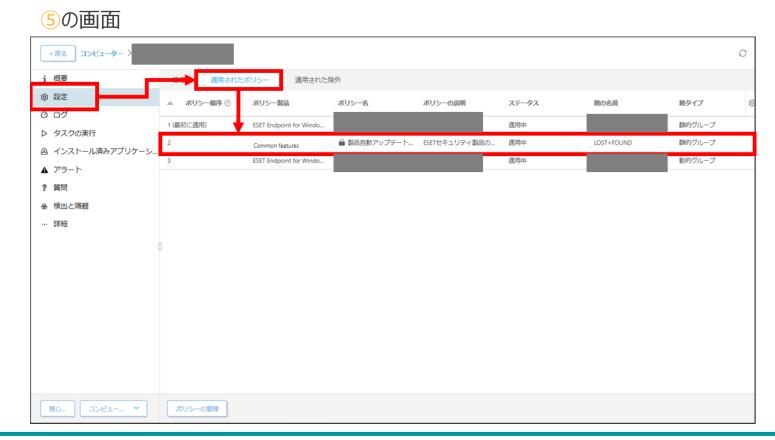
- ④ 画面左の[コンピューター]をクリックします。ポリシーを適用したクライアント、または、ポリシーを適用したグループ内のクライアントを選択し、[:]>[詳細]をクリックします。
 - ※クライアントのESET Managementエージェントがセキュリティ管理ツールに接続する間隔を長く設定している場合は、ポリシーの反映に時間がかかる場合があります。





セキュリティ管理ツールを利用して設定する方法

⑤ [設定]>[適用されたポリシー]の順にクリックします。 ポリシーの一覧の中に適用させたポリシーが表示されていれば、ポリシーは設定されています。 以上で手順は終了です。







自動アップデートによるバージョンアップは検出エンジンがアップデートされるタイミングで行われます。アップデートは「スケジューラ」の設定によるタイミング、または手動で実施することができます。

操作手順につきましては次ページ以降にて案内します。

利用するESETプログラム	設定方法	ページ
クライアント: EES/EEA V9.1、V10.1、V11.x、V12.x ESSW V9.0、V10.0、V11.x、V12.x	手動でアップデート	P43
	「スケジューラ」の設定の確認	P44~45

※スケジューラの設定手順につきましては以下をご確認ください。

【クライアントを直接操作して設定する場合】

▽ESETオンラインヘルプ ESET Endpoint Security ~スケジューラ~

https://help.eset.com/ees/12/ja-JP/idh page scheduler.html

ESETオンラインヘルプ ESET Endpoint Antivirus ~スケジューラ~

https://help.eset.com/eea/12/ja-JP/idh_page_scheduler.html

ESETオンラインヘルプ ESET Server Security for Microsoft Windows Server ~スケジューラ~

https://help.eset.com/efsw/12/ja-JP/idh_page_scheduler.html

【セキュリティ管理ツールを利用して設定する場合】

▽ポリシーを使用してクライアント端末のアップデートタイミングを分散させるには

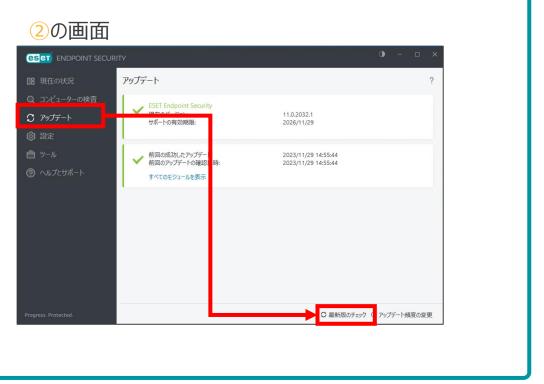
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/15816?site_domain=business



手動でアップデートする方法

- ① 画面右下の通知領域にあるESET製品のアイコンをダブルクリックして、基本画面を開きます。
- ② [アップデート]>[最新版のチェック]の順にクリックします。



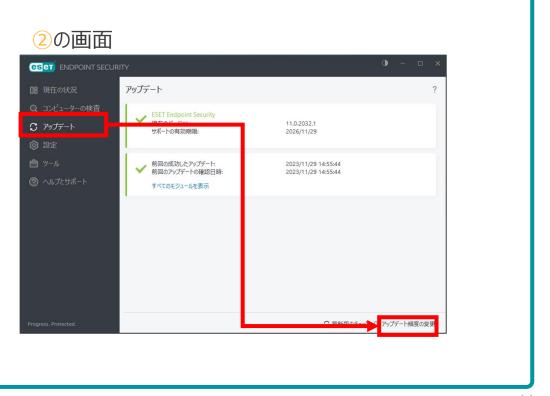




「スケジューラ」の設定を確認する方法

- ① 画面右下の通知領域にあるESET製品のアイコンをダブルクリックして、基本画面を開きます。
- ② [アップデート]>[アップデート頻度の変更]の順にクリックします。







「スケジューラ」の設定を確認する方法

③ スケジューラの画面にてアップデート実施タイミングをご確認ください。

